

分野	森林を育成する治山			事業番号	34	事業名	水源地域等保安林整備 (奥地保安林保全緊急対策)				
市町村名	安曇野市	ふりがな 箇所名	みさと 三郷		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~		H27 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工 4個、森林整備50.00ha				H23年度末 事業進捗率			- %		
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース			- %		
	H24年度実施内容	谷止工 1個				用地補償費ベース			- %		
	年度	全体事業費		H22年度まで	H23年度	H24年度		H24年度以降残			
	事業費計(千円)	100,000				25,000		100,000			
財源内訳	国庫支出金	50,000				12,500		50,000			
	その他										
	県債	45,000				11,250		45,000			
	一般財源	5,000				1,250		5,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	(20)	必要性	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸			B	0	
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし			5			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし			0			
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満			7			
		小計								12	
	(15)	重要性	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし			A	5	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小			5			
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5				
		小計								15	
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満			A	10	
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上			5			
		流域の総合調整	あり	なし			3				
		小計								18	
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上			A	7	
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)			6			
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)			1			
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク	なし				7	
		小計								21	
	(20)	計画	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない			A	10	
		熟度	事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない				3	
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない			3			
		小計								16	
	費用対効果(B/C)		2.93		評価の合計			A	82		
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該流域については、安曇野市三郷地区の重要水源となる地域ではある。北アルプスの隆起活動に伴う地形急峻・地質脆弱なことから溪流・山腹荒廃が多く発生し、明治40年代に保安林指定がなされ、以降継続的に治山事業が行われた。平成23年8月及び9月豪雨により流域内の黒沢川において濁水が発生し、2度にわたり三郷地区約1200戸に断水被害が生じた。								
地域からの要望経緯		上記の濁水被害発生を受け断水被害を受けた三郷地区住民から対策を求める声が非常に強く、安曇野市からも平成23年9月に対策を求める要望が出されている。									
事業説明等の経緯		平成23年9月に事業概要について安曇野市へ説明済、平成23年9月に地権者である地元山林組合から治山事業実施について内諾済、全体計画策定時及び個別工事実施前に詳細説明予定。									
環境・景観への配慮項目		特になし。									
他事業・プロジェクトとの関連		上流域を管轄する国有林、下流域を管轄する安曇野建設事務所(砂防)と平成23年9月協議、治山事業実施について了解済み。									
特記事項	黒沢川流域の溪流内には不安定土砂が堆積し降雨により濁水被害が再度発生する恐れが高い。										
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	三郷地区の重要な水道水源森林の荒廃が進んでおり、豪雨のたびに水道施設に土砂が流出している。そのため、施設整備と森林整備を一体的に進め、森林の持つ水源かん養機能と土砂流出防止機能の高度発揮を早急に図る必要がある。			政策評価課意見	重要性が高く、緊急性も認められる。						